

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2190
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌発行委員会

秋季号所感

理事長 中村 猛



11月に入り、朝夕めっきり涼しくなり紅葉の候となりました。

8月に季刊誌「みどりの風」の夏の第1号を発売し、はや秋の第2号をお送りする季節となりました。海外ではアメリカ南部を襲ったハリケーンやパキスタンの大地震で多数の犠牲者のニュースが伝えられ大災害の恐ろしさと、その対策が改めて検討されております。わが国では郵政民営化を

本丸としてかかげた、自民党が衆議院選挙で圧勝し、いよいよ法案も通過し、今後様々な分野に構造改革の名のもと社会機構が変化を遂げるわけですが、医療、福祉分野も例に漏れず、その支出増大を抑制するため、予算削減の逆風が政府より示されております。すなわち、この10月より手始めに介護保険施設などの自己負担が増加（居住費と食費の自己負担）し、私共の介護老人保健施設では、毎月約3万円余りの自己負担増となります。又、施設側も大幅な減収が見込まれ、価格設定や御利用者・御家族へのお知らせ、御理解を得る業務で追われている毎日でした。この介護保険の改正は来年春の医療保険の改正でも適応されるであろうと予想されます。又、医療報酬の総枠でも2～5%の減を政府は指針として発表しております。GDP（国内総生産）における医療費の割合がアメリカに比べ約半分と少ないわが国に於て、なお医療費の削減へ向かう議論は、まず医療費の総枠が他の先進諸国と比べて適正かどうかの議論に転換すべきと考えます。又、医療費の配分においても医薬、医療材料、医療システム、その他医療サービスの間接的業界の適正な配分を考える必要があります。

先日、全国の専門臨床学会に出席し、そのシンポジウムでも

医療制度の中の包括性と出来高払い制の比較が論じられていました。わが国の技術料の低さはよく論じられていますが、DPC（※1）の中でいかに効率性、そのエビデンス（※2）の透明性を生かし適正な技術料の評価を行うか、先端医療を行う公的病院がグループを組んで真剣に提案しているのが印象に残りました。又、公的病院と民間病院のあり方、病診連携を含む機能分化や情報公開のシステム化等、現在先人達が脈々と築いてこられた、わが国の世界に誇るべき国民皆保険制度の堅持について、もっと国民へ分かりやすく「説明とその対話、理解から国民全体の総意」として、この社会保障、すなわち医療福祉の改革を進めることが必要で単なる増加をくい止めるための削減では、間違いなく取り返しのつかない後退につながると考えられます。

さて、我々の両法人は秋の四季のお祭りをなごみの里農園の収穫祭と合同で開催しました。我々スタッフと入所者の方々と交えて楽しい集いとなりました。来年2月にはみどりの風も冬季号を発売予定で、その頃に又、四季祭は雪祭りと名うって行う予定としております。

最近では段々、変化のテンポが早くなり、日々のニュースやFAX、MAILの情報に追われっぱなしで、なかなか落ち着いた時間がとれない状態です。それでも出来るだけ睡眠はしっかりと、早寝早起きで健全な体をもって、明日への夢と希望をいただいて、明るい、元気な毎日を我々スタッフはお互い助け合っていくつもりです。

※1 一般病棟における包括評価
 ※2 科学的根拠に基づいた医療



平成17年度永年勤続者表彰

平成17年10月6日(木)平成17年度永年勤続者の表彰式を挙行致しました。下記9名の方が今回表彰されました。

「勤続15年表彰」

前田美之 (中村病院)
 岩成邦子 (中村病院)
 柴田きみ子 (中村病院)

「勤続10年表彰」

下野信子 (中村病院)
 岡田敦子 (中村病院)
 渡辺眞次 (中村病院)
 村橋澄子 (なごみの里)
 富田美津子 (なごみの里)
 小山康子 (訪問介護)



(※尚、勤続20年・25年は該当者なし)

中村病院副院長就任挨拶

副院長 傍島 徹



この度、医療法人みどり会中村病院の副院長に就任しました傍島徹です。もとより微力ではございますが皆様のご支援をいただき、地域医療ならびに当院の発展のため全力を尽くして参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。当院では呼吸器、胸部外科、漢方診療科を担当しています。がん撲滅をライフワーク

にしておりますので、何かお困りのことがありましたらいつでもお気軽にご相談していただければ幸いです。これからも地域の方々に安心して診療が受けられる病院づくりに邁進して参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

■「禁煙してみませんか？」

外科医長 吉岡 宏晃



【タバコの害】

喫煙者が吐き出す白い煙。火のついたタバコの中から立ち上がる紫煙。タバコを吸う人も、吸わない人も、これらの煙を直接的、間接的に吸うことにより、知らず知らずのうちに体に害をおよぼしています。

タバコの煙には4000種類以上の化学物質が含まれ、そのうちの200種類以上は有害・有毒物質です。中でもタール、ニコチン、一酸化炭素はタバコの3大有害物質と呼ばれています。タールには発癌物質や毒性物質が含まれおり、医学史上でも山極勝三郎博士による人工タール癌が、世界初の発癌実験として広く知られています。この実験では大正2年からタールをウサギの耳に塗る実験を始められ、翌年にはすでに人工的に皮膚癌が発生しています。このタールは近年著しい増加傾向にある肺癌の最大の原因となっています。また、ニコチンは麻薬と同様習慣性を持ち、吸い始めるとやめられなくなるのも、その強い習慣性のためなのです。ニコチンは非常に強い血管収縮作用を持ち、喫煙者の死亡率を高めている心疾患（心筋梗塞、不整脈）や脳梗塞の大きな原因となっています。

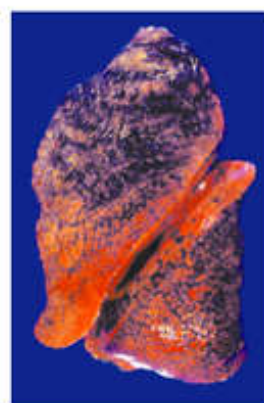
喫煙者の肺癌の発病率は非喫煙者の5倍にも達しており、他にも喉頭癌、食道癌、膵臓癌、胃癌、膀胱癌など、多くの癌の死亡リスクを高めています。先ごろ亡くなられた先代・貴乃花関も喫煙者でしたが、罹患された口腔癌での死亡率は非喫煙者と比べて4倍となっており、喉頭癌にいたってはなんと32倍以上となっています。また、その他でも気がつかないところで、タバコはさまざまな病気の原因となっています。たとえば、子供が喘息になる割合で言えば、家族にタバコを

吸う人がいない場合では100人中1.7人。それが、母親が喫煙者の場合だと4.9人で、吸わない場合の約3倍という多さです。その他の喫煙の害としては、女性では不妊症、未熟児出産、骨粗しょう症、早期閉経、男性ではインポテンツ等も良く知られています。また女性・男性を問わずタバコは美容に悪く、20歳頃より吸い始めると、中年になった時には素肌年齢で5~10年も老化が進んでいると言われていています。

【対策として】

最近では、ニコチン置換療法により無理なく禁煙できることが多いです。ニコチン置換療法とは、禁煙後にあらわれる離脱症状に対して、ニコチンを喫煙以外の方法で体内に補給し、それらの症状を軽減させ、自然に徐々に禁煙に導くという新しい、医学的にも優れた方法です。現在、日本ではニコチン・パッチの貼り薬と専用のガムがあります。しかし、これらの薬を使うだけで、すぐにでもタバコが吸いたくなくなるというような、魔法の薬でもありません。やはり、タバコの害を理解し、やめようという意志が一番大切なのです。

これを機会にあなたも禁煙してみませんか？禁煙したい方、応援します！詳しくは当院禁煙外来までご相談ください。



喫煙者の黒くなった肺
(69才男性・喫煙歴:1日20本・40年間)



■ 第3回 院内講演会開催



形成外科 山本 医師



美容外科 中村 医師

形成外科・美容外科講演会

去る10月20日(木)、第3回院内講演会を形成外科・美容外科について山本雅之先生、中村知子先生を講師に招き開催いたしました。

「形成外科」については、スライドを通して外科・整形外科との違いを詳しく説明して頂きました。

「美容外科」については、美肌・若返り・豊胸・脂肪吸引・プチ整形と多岐にわたり講演して頂きました。参加された女性の方“誰もが美人に生まれ変わる”と思われたのではないのでしょうか。

大勢の参加者で盛況裡に終了しました。



■ リハビリテーション科の紹介

リハビリテーション科課長 清家 康伸



当法人のリハビリテーション科には①中村病院 ②介護老人保健施設なごみの里 ③訪問リハビリテーション ④中村記念病院 と大きく4部門に分かれます。それぞれの共通した方針としましては「地域に密着した心温まるリハビリ」を目指しております。

平成18年4月に開院予定である中村記念病院では回復期リハビリテーション病棟をはじめとするリハビリテーション主体の病院であり、リハビリテーション技師を多く配置してより充実したリハビリテーションを提供します。在宅の復帰を第一に

目指し、個々の患者様の社会的背景を含め、様々な職種がチームを組み総合的に支援できる環境を構築していきたいと思っております。

中村記念病院を含め当法人のリハビリテーション科では急性期から在宅まで一環したリハビリを提供すると共に、回復期リハ病棟においては地域における急性期からの受け皿的な役割として機能を果たしていきたいと思っております。

今後とも、より一層のご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

介護保険法改正と新料金

事務長 山中昭男

平成17年10月より介護保険法が改正されました。この改正は介護保険の制度が平成12年に施行されて初めての大幅なものであります。

改正主旨は、皆様は既にご存知の通り、国の財源が逼迫してきていることから費用の掛かる施設入所から在宅介護を重視したシステムへの転換を図ることにあります。

そのためには、介護予防を取入れ、介護の必要のない人口を増やし、介護給付費の抑制と継続性を保つ施策を実行されようとし、食費と居住費（光熱水費）を利用者に自己負担していただき、今まで施設が受けていた介護報酬は減額されることになりました。

当施設ではこの改正に伴い、食費、居住費、個室料の改定を行いました。

料金設定は厚生労働省、大阪府高齢介護室施設指導グループ並びに枚方市等の指針を基に地域性も考慮しながら検討を重ね、次の通り決定いたしました。

食費 1600円、居住費 500円、個室料 1500円。

改定後の利用料金については入所者のご家族はもとより、新規の申込者についても文書でお知らせし、更に、口頭で十分なお説明をいたしました。

説明の中で、大半のご家族は個人負担が増えることに大きな危惧と将来への不安を抱いておられることがありありとうかがえました。

今後、施設としても介護報酬が減額になり、運営的にも楽観視出来ない現状ではありますが、ソフト面での充実はもちろんのこと施設全体のサービスの質の向上を図る取り組みを行い、ご利用者様が安全、且つ安楽に過ごしていただける施設づくりに邁進していく所存であります。

川柳教室の紹介

支援相談員 中村晴香



なごみの里では、毎月1回「川柳教室」を開催しています。顧問にボランティアで藤山竜骨先生をお迎えしています。

利用者の皆様が1ヶ月前に出題された宿題を自身で練り、その作品を教室のメンバー全員で鑑賞し合い

ながら、より川柳らしい表現を先生に教えて頂いています。教室の講義中は、皆さん真剣に先生のお話を聞いて、感心したり、川柳作りの苦労話をやり取りしたりで、楽しそうです。

教室の終盤に竜骨先生から次回までに作ってくるテーマが出され、皆さん「難しい」と言いながらも一生懸命励んでおられます。

これから益々活気のあるクラブとなりますよう、興味のある方々のご参加をおまちしております。

最優秀川柳作品

親の肩 忘れしに 吾も老ゆ 志津
松茸の 香り喜ぶ 森の家 喜子

Four Seasons Festival (収穫祭)



肌寒い日がだんだん増えてきて、秋真っ盛りとなってまいりました。

10月6日はなごみの里農園の芋ほりと収穫祭が行われました。このサツマイモやなすは入所者の方と職員が協力して育てたもので、1週間前に試しに掘ったところ小さかったので、今年の芋はちょっと小さめかな？と聞いていたのですが、いざ掘ってみると大きな芋がゴロゴロ出てきました。入所者の方も職員も大喜びでした♪

その夜、永年勤続者表彰パーティーがありましたのでその中

の食事の一品として、サツマイモはふかし芋・大学芋にして、なすはマーボーナス・茄子の煮物にいただきました。お昼まで土の中に入っていたサツマイモはとっても新鮮で甘く、おいしかったです。

サツマイモ掘りが終わった農園は次の作物の準備に入ります。また新鮮な野菜やきれいな花を作るために職員と利用者の方とで協力してがんばりたいと思います。

在宅部門

訪問介護ステーションみどり 所長 小山康子

心肺蘇生法を体験して



当事業所では月1回登録訪問介護員の研修会を開催しています。その一環として先日、救命救急蘇生の講習会を行いました。

救命士から心肺蘇生の講義を受け、実際にデモの人形を使い最新機器のAED（自動体外式除細動器）も一人ひとり体験させていただきました。初めて参加する登録ヘルパーもあり、皆真剣に取り組んでいる様子が伺え、質問も多数出てきました。参加した登録ヘルパーからは、実際に行なってみると1分1秒の大切さや、心臓マッサージ人工呼吸の難しさが身にしみたとの声があがりました。

今後は、身近でいつ起こるかわからない不意の出来事に対して、今日の体験を生かして職場でも行動できるよう日々研鑽していきたいと思っております。そして今後ますますヘルパーとしての技術の向上を目指し、講習会の充実を図りたいと思っております。



■ ケアハウス藤阪・GHたんぽぽ藤阪・満室となりました！

おかげさまで平成17年8月1日をもちまして、ケアハウスつくしんぼ藤阪（定員30名）・GHたんぽぽ藤阪（定員18名）が満室となりました。平成16年10月1日に開設し1年を待たずして満室となりました。これもひとえに関係機関、各居宅介護支援事業所のケアマネジャーの皆さまや地域の皆さまのご協力とご支援をいただいた結果と存じます。紙面をお借り

いたしまして厚く御礼申し上げます。

介護保険の改正は当施設にも少なからずの影響が見通されています。今後も、入居されている方の個人の要望に沿ったサービスの充実を図ってまいりますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後に開設前に研修などでお世話になりました各事業所の方々にも重ねて御礼申し上げます。

■ お茶会訪問

施設長 中村 敏子（宗名：中村宗敏）

□ケアハウスつくしんぼ藤阪では、毎週金曜日にお茶会をしています。

朝9時30分から午後3時30分まで、3グループに分かれて総勢15名の方がいらっしゃいます。

ケアハウス藤阪の方々、シャトルバスに乗ってのなごみの里の方々やグループホームたんぽぽ長尾の方々です。



□夕方5時30分からは、医療法人みどり会や社会福祉法人松樹会の職員の皆様が、勤務を終えてからお稽古に来ます。若い人達は足がシビれて、なかなか正座が出来ませんでしたが、最近ではようやく30分位は座れるようになり、一碗のお茶が点てられるようになりました。

□お茶は初めてといった方から、好きなのでよく飲んでいた、又お稽古場を持ち指導されていた方までさまざまですが、季節感を取り入れた茶室で、なごやかにお菓子をいただいたり、お点前の練習をしています。

□次回からは、四季折々のお茶室風景をご紹介させていただきたいと思っております。

又皆様方のお茶会への参加をお待ちしております。

■ 平成17年度新卒入職者課題研修報告会を開催!!

医療法人みどり会、社会福祉法人松樹会では、毎年新卒入職者に対して6ヶ月間の教育訓練を実施していますが、本年度も4月に入職した7名の職員に対して4月から3ヶ月間は各種基礎研修、又7月からの3ヶ月間は課題研修を実施してまいりました。

10月21日には、6ヶ月に亘る本年度新卒職員研修の締めくくりとして、中村理事長を初め幹部・上司の出席もと課題研修報告会を実施いたしました。

課題研修報告会では、研修受講者からの課題報告や質疑応答をする姿を見て、上司コメンターからは「なかなか意見も言えなかった7名が、自分の言葉で自分の意見を述べている。『人とは成長する生き物』だと実感しました。」とありがたい言葉をいただきました。今後、この経験を忘れず・初心を

忘れず、しかし初心に縛られず日々新しい事にチャレンジする精神を発揮して、地域の医療・福祉活動への活躍を期待したいと思います。



■ 各施設連絡先

● 社会福祉法人 松樹会 ●

つくしんぼ長尾 072-868-2190

デイサービスセンター長尾 072-868-2190

有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190

つくしんぼ藤阪 072-868-2191

たんぽぽ藤阪 072-868-2197

居宅介護支援センターつくしんぼ 072-868-4394

● 医療法人みどり会 ●

中村病院 072-868-2071

地域医療相談室 072-868-2071

なごみの里 072-868-2072

在宅介護支援センターなごみ 072-868-2072

配食サービスセンターなごみ 072-868-2072

みどり介護学院 072-868-2194

たんぽぽ長尾 072-868-2195

居宅介護支援センターなごみ 072-868-4391

訪問看護ステーションみどり 072-868-4392

訪問介護ステーションみどり 072-868-4392

—— 編集後記 ——

秋号の発刊と同時に秋の紅葉前線の便りがきこえてきますが、個人的には日本の四季のなかで一番好きな季節です。日頃の体力低下をこの秋でおおいにアウトドアでリフレッシュしたいものです。

政府の医療費改正案は診療報酬の総枠削減に向かって医療・介護・福祉分野を取り巻く環境はますます厳しいものが予想されます。これらの改正が高齢の患者様に打撃とならないように配慮が必要ではと感じます。

季刊誌編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071

法人本部 松田